

②通常業務の復旧（発災時に業務を中断できる部署）

|          |  |   |
|----------|--|---|
| 新設/既設    | 既設   |   |
| 業務       | オンコロジー（温熱外来・外来での化学療法実施・人工関節リウマチの点滴実施）  |   |
| 業務種別     | 通常業務の復旧  |   |
| 責任者      | オンコロジー師長   | 代行者：温熱外来担当  |
| 復旧時期の目安  | 72 時間  | 代替案： 7 日以内の復旧目指す  |
| 役割及び活動内容 | 必要な人員：6 人  | 人数が不足している場合の最低人数：4 人  |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学温熱外来の診察</li> <li>・がん患者の抗がん剤及び副作用対策の薬の投与</li> <li>・人工関節リウマチ・潰瘍性大腸炎・クローン病などの特殊点滴の投与</li> </ul>               |   |
| 必要なインフラ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気</li> <li>・電子カルテ</li> <li>・医療ガス</li> <li>・上水</li> <li>・電話（外線/院内 PHS）</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気がないと抗がん剤治療は不可能。（輸液ポンプがないと正確な滴下量が入らない、電子カルテで指示内容の確認が必要）</li> <li>・侵襲の高い治療のため医療ガスは必要</li> </ul> |
| 必要な情報    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の被災の状況・治療中止か否かの判断</li> <li>・電気や電話、電子カルテ等使用可能なリソースは何か</li> <li>・災害自体の情報（規模や震源地など）</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の被災の状況・治療中止か否かの判断</li> <li>・電気や電話、電子カルテ等使用可能なリソースは何か</li> <li>・災害自体の情報（規模や震源地など）</li> </ul>   |
| 物品       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ</li> <li>・本日の治療患者リスト</li> <li>・手書きのカルテ</li> <li>・院内 PHS・筆記用具・ペンライト</li> <li>・ホワイトボード・スピルキット</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低限、電子カルテ・医療ガス・輸液ポンプが揃えば業務は可能。</li> </ul>   |
| 課題       | 災害により調剤や治療途中の抗がん剤の破損により、曝露のリスクがある。また、通常から対応するスタッフの数が少ない。   |   |
| 連絡先      | 内線：●●●● 師長 PHS：●●●● 温熱外来 PHS：●●●●  |   |